

子どもが輝くまちづくりをめざして

第3期白鷹町子ども・子育て支援事業計画の策定について説明を受けた。

【基本理念】

確かな時代(あした)を、地域みんなが白鷹っ子の笑顔

かがやくまち

【施策目標】

○こどもの「生きる力」の育成

○子育て家庭の健康づくりの推進

○子育て家庭への支援の充実

○仕事と家庭の両立の推進

○こども・子育てに配慮したまちづくり

○地域における子育て支援の充実

○次代の親の育成

○子ども人口の推移

令和6年実績は5歳以下が328人、6〜11歳が508人の計836人。令和11年推計で5歳以下が228人、6〜11歳が356人の

計584人と、約30ポイント減少する見込み。

質疑

相談支援体制

【委員】子育ての相談相手が少ない人の割合も一定数ある。改善のための支援体制はどうか。

【当局】子育て支援センターや保育所施設の相談窓口とも連携し、一体的な体制強化に取り組んでいきたい。

障がい児施策

【委員】発達障害などの診断を受ける際、時間がかかる。診断前のサービス利用は可能か。

【当局】診断がまだの場合でも、支援の必要性があればサービス利用は可能である。

保護者の意見の反映

【委員】子育て会議時の保護者の意見は生かされているか。

【当局】会議を2回実施し、子育て中の母親に参加いただいた。大人の居場所が少ないというご意見をいただき、計画に盛り込んだ。



寝る子は育つ

持続可能な人口対策を

第6次白鷹町総合計画後期基本計画(案)及び白鷹町振興実施計画(案)について説明を受けた。

【基本的考え方】

将来像の実現に向けて「人づくり」「産業・経済」「定住化」「地域力」の重点分野に注力するとともに、前期基本計画で設定した将来人口目標(2040年・1万5000人程度)を目指す。

【主な持続可能な人口対策について(案)】

重点プロジェクトに位置付け、「人への投資」を中心に持続可能なまちづくりを進める。子育て世代の転入増や転出抑制により人口を確保し、全世代の健康増進を進めることで生活環境を整え、多様な人材の還流によって持続可能な地域社会の形成をめざす。特に生産年齢人口の

確保が急務であり、女性の定住に向けた取り組みを強化することで好循環を後押しする。

質疑

5年後の目標

【委員】後期計画終了時の5年後、2030年の人口目標はあるか。

【当局】具体的にはないが、2040年の数値目標までの設定の範囲になる。

女性活躍の場

【委員】人口維持には女性活躍の場は重要。町内企業の理解や後押しが必要ではないか。

【当局】企業や金融機関等との連携が重要。理解と協力が必要になるので、関係各課とも連携していく。

起業・創業支援

【委員】起業・創業支援について、先進事例などを周知し、機運を高める取り組みもよいのではないか。

【町長】企業や商工会とも連携が必要。個別には慎重に取り組む必要があると思う。



役場庁舎

その他
○人材ベ이스キャンブ設立事業及び人材還流促進事業の実施状況について、説明があった。